



愛知陸協広報

第35号

平成27年3月31日発行

一般財団法人 愛知陸上競技協会

〒460-0012 名古屋市中区千代田二丁目19番16号千代田ビル7F

電話 (052) 249-4363 ファックス (052) 249-4366

ホームページ: url <http://www.aichi-rk.jp/>

80周年記念式典を終えて

副会長 室伏 重信

平成26年度も終わりに近づき、新しい年度が始まろうとしています。その26年度を振り返りますと、11月25日に行なわれた愛知陸協創立80周年の記念式典が印象に残ります。会長はじめ来賓の方々の挨拶と祝辞に、今日に至る愛知陸協の歴史の一端を知ることができました。また表彰を受ける選手や指導者は、過去10年間が対象です。十年一昔と申しますが、この10年の間には多くの選手たちの活躍があり、その選手たちの勇姿に懐かしさを感じました。

私がハンマー投選手として全盛の頃は、オリンピックを目標に練習をしていました。運よくオリンピックはミュンヘン(8位)から4大会連続の代表となりましたが、目標はあくまでも一つのオリンピックに出場し結果を出すことにありました。4年間創意工夫をしながらオリンピックを迎え、その結果が良くも悪くも終えた段階でまた次のオリンピックに向け練習をしていったのです。この繰り返しをしていく中、長期に好調をキープし結果を出していくことがいかに難しいかを痛感したのです。その中で室伏広治はハンマー投で2001年から2012年の間、世界選手権はエドモントン銀メダル、パリ銅メダル、テグ金メダルそして、オリンピックではアテネで金メダル、ロンドンでは銅メダルを獲得しました。世界最高峰の大会で12年間のメダル獲得は、世界のトップレベルの選手であっても成すのは難しいことです。また最近では、モスクワ世界選手権において棒高跳の山本聖途が6位と健闘しました。これから長く世界の舞台で活躍する選手に育ってくださることを願います。このほか愛知県には過去、オリンピック・世界選手権に出場した選手が多くおります。世界の大会に出場しさらに活躍してくれる選手が出ることは県陸協としても大きな喜びとなり、また大きな力ともなります。このためにも選手強化は重要であります。今後も一層の強化に力を注いで、多くの優秀な選手を輩出してもらいたいと思います。

さてこれからは、次の10年に向けてのスタートの時であります。2016年度には愛知で日本選手権が開催され、これがリオのオリンピック最終選考会となります。さらに5年先の2020年には東京オリンピックが控えております。これから10年の愛知陸協の成功のためには、指導者や競技会を運営して下さっている役員ならびに審判員、さらにご協力をいただいております団体の支えが不可欠であります。今後とも愛知陸協に対し、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



にぎやかな式典会場



関係団体への感謝状贈呈



優秀選手等の表彰



鏡開き



今年度の活動を終えて

副会長 村瀬 雄一郎

天候不順で長く厳しかった冬も終りを告げ、ようやく春の訪れと共に新しいシーズンを迎えます。二月には読売犬山ハーフマラソン、三月には陸協にとりまして最大のイベント、名古屋ウィメンズマラソンを多くの皆様のご協力で無事終えることができました。このことは、この上もない喜びであります。

大会のために県下各地からお越しくださり、大会運営にそれぞれの立場で責任をもって対応されている姿に対しては、心から敬意と感謝の念を禁じ得ません。また、大会を迎えるために要項の案内から参加者の受付、プログラムの作成など準備も大変な仕事量であり、それらを見事にこなしておられる関係者の皆様にお礼を申し上げます。一年を通しての数多くの大会が、今年度も無事終えることができました。本当にお疲れさまでした。

一方2020年に日本で開催される東京オリンピックへ向け、県内の選手たちがこの目標に向かって大いに努力され、すべての競技者がより一層自分自身を高めていただきたいと念じています。選手強化は大会運営と共に協会の大切な課題です。関係各位の皆様の一層のお力添えをお願いしたいと存じます。

最後に私事でございますが、協会の副会長という役職を本会の規約により今期で卒業させていただくことになりました。長い間大変御世話になりましたことに衷心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

専門委員会報告

総務委員会

2015年の登録が3月1日から始まりました。公認の陸上競技会等に審判員・競技者として参加するためには、愛知陸協に登録し、日本陸上競技連盟の登録会員にならなければなりません。しかし、せっかくの審判員の資格を持ちながら登録に二の足を踏まれている方が多いのではないのでしょうか。ご多聞に漏れず当協会も高齢化が進んでおり、この先の大会運営にも支障を招きかねません。若い方たちの力が必要なのは言うまでもありません。

来年2016年には、日本選手権の愛知開催が決定しています。多くの審判員を必要とします。資格のある方は一人でも多く登録をしてください。登録は、「登録要項」またはホームページを参照して行なってください。なお、不明な点は、事務局(電話052-249-4363)までご連絡ください。また、年度の登録申請期間は毎年3月1日～11月30日(高校は10月31日)までです。

登録担当者・申請先を掲載します(転勤等で、担当者の所属先が変わる場合があります)。

一般団体・個人

名古屋	赤司 学	市立工芸高等学校
尾張	藤田 剛	一宮南高等学校
西三河	山村 晃泰	刈谷高等学校
東三河	山本 誠司	蒲郡東高等学校

大学生

全県	愛知陸協事務局	052-249-4363
----	---------	--------------

高校生

名古屋北	新美 準人	菊華高等学校
名古屋南	小田垣充雅	名古屋女子大学高等学校
尾張	宮本 智	尾北高等学校
知多	成田 稔	武豊高等学校
西三河	阿部 直紀	安城南高等学校
東三河	中村 昭広	豊橋工業高等学校

中学生(学校・クラブ・個人)

名古屋	森 剛人	日進東中学校
尾張	酒井 達哉	古知野中学校
西三河	細井 太郎	美川中学校
東三河	岡田 淳史	南陽中学校

小学生友の会

名古屋	石田 伸	東浦藤江小学校
尾張	西村 嘉二	木曾川東小学校
西三河	小林 良博	安城東部小学校
東三河	手嶋 修次	NPO法人蒲郡アスリート コミュニケーションズ

(水野 隆夫)

競技・情報処理委員会

2014年度のシーズンも終了し、いよいよ新しいシーズンの開幕です。2016年6月には瑞穂陸上競技場に於いて、日本選手権がオリンピック選考大会として行なわれます。準備も含めて2015年度は、日本選手権を意識した大会運営を心がけていきます。

各競技会の申し込み等は、大会要項や競技注意事項をよく読み気をつけてください。愛知陸上競技協会では、協会主催の大会において、新ルールの適用を原則としています。しかし一部の大会では旧ルールを適用するので、大会要項や競技注意事項で確認をしてください。

一年を通して、愛知では国際的、全国的な大会や東海大会から小学生の競技会まで幅広く陸上競技が行なわれています。多くの競技者が出場しそれを支える競技役員、補助員によって運営されています。それぞれが協力し合って、よりよい環境で競技できるようにご協力をお願いします。

(榊原 茂)

施設・用器具委員会

1. 瑞穂公園陸上競技場の整備について

(1) 日本選手権開催に向けて

〈経過報告〉

2009.3 検定時に市教委から、財政上瑞穂競技場改修には大き

クラブ紹介②9 いっしき陸上クラブ

平成19年に「NPO法人スポーツクラブいっしき」の活動の1つとして誕生したのが、「いっしき陸上クラブ」です。今年で9年目を迎えます。西尾市にはこのような小学生を対象とするクラブチームはなく、旧一色町という小さな町からの立ち上げのため、当初は十数人の参加者から始まりました。平成23年に西尾市と幡豆郡三町が合併し、西尾地区・吉良地区・幡豆地区からの参加者も多くなり、現在では50人近くからなるチームへと発展しました。

このクラブの目的は、「走る」「跳ぶ」「投げる」などどの種目にも共通する基本的な運動を行なうことにより、総合的な身体の発育を目指しています。また、大会に参加することで各自のモチベーションを高め、年間を通し継続して運動する習慣を身に付けることにあります。合言葉は



お揃いのオリジナルTシャツでW-アップ

「県大会に行くぞ!」であり、11月の県大会まで主な練習が短距離やフィールドでの練習となります。それが終わると長距離の練習となります。発育途中である小学生が、あまり

激しい運動やロードでの練習をしないように心がけています。

活動の拠点は、一色中学校グラウンドで、毎週日曜日9時30分から11時30分までの2時間練習してい

ます。一色中学校では、夏の各種大会や小学生のソフトボール大会などが頻繁に行なわれるため、思うように練習できないのが実状です。

歴史の浅い小さなクラブではありますが、過去に3人が全国大会に出場しています。今年度も女子走幅跳に出場し、4人となりました。

このクラブを通じて陸上の楽しさを知って、中学・高校になっても続けてほしいと願っています。そして、大学生や社会人になったら指導者として戻ってきていただきたいです。また、このクラブの卒業生から箱根駅伝や全国都道府県対抗駅伝の選手が出てくれることを願っています。

(高須 伸一)



全員集合

な大会誘致が必要になるとの示唆あり。

- 2010.10~12 日本ジュニア・ユース大会開催 ~ 2014
- 2011 愛知陸協として、市教委に2013全日中開催を見据えて要望書を提出。~ 2012
- 2013.3.20 北競技場検定時に投擲物備品購入済み。
- 2013.8 全日中瑞穂開催(要望書どおりに整備されず、中体連対応で補うことに)
- 2014.3.20 瑞穂競技場検定時に、ヘリオスと写真判定装置購入、電気配線の更新、無線インカムの導入。*コンピュータ更新(XP対応)の要望書を提出していたが、検定に間に合わなかった。
- 2014.6.6~8 日本選手権福島大会視察:市スポ振興課2名(課長・施設係長)、名古屋市教育スポーツ協会2名(瑞穂事務所主査、企画室長)、陸協(外山・稲垣・青木)
- 2014.10.3 第100回日本選手権誘致の資料作成のため、仮設物の現場打合せ:市スポ振興課(古賀・松井)、瑞穂事務所(柴本)、陸協(青木)、業者(酒井)
- 2014.12.3 第100回日本選手権開催申請書の作成。
- 2014.12.22 日本陸連理事会で名古屋市開催が決定。17:30名古屋市長記者会見
- 2014.12.25 フィールド芝生張替え(グランパスの要望に対応)の発表。
- 2015.1.15 コンピュータの更新(XP対応):ニシスポーツ落札
- 2015.2.4 瑞穂公園陸上競技場競技運営システムの変更について会議:市スポ振興課(古賀・松井)、瑞穂事務所(鈴木)、ニシスポーツ(山下・田中)、陸協(岡田・榊原・勝見・青木)
- 2015.2.17 仮設投擲練習場(照明可能場所:ラグビー場、野球場)の検討会:市スポ振興課(課長・施設係長・スポーツ係長・松井)、瑞穂事務所(柴本)、陸協(青木)
* 田辺競技場は仮設照明が必要になる。

今後、長年の未実現要望を実現させる打合せを、粘り強く継続する必要がある。

(2) 愛知陸協として、日本選手権を見据えた今後の競技運営システム変更への対応について

2/4の名古屋市説明会に向けて陸協内検討会(1/30):岡田、榊原、勝見、谷口、青木

①入札条件について

「今までと同じことができること」の確認。

②講習会、研修会の設営について

- 3/22、29 サッカー専用使用でダメに。
- 3/23~平日午後で講習研修会を計画調整して、提案することに。
- 第1回名古屋地区陸上競技大会プロ編集での、版下作成等の研修をその夜計画することに。⇒機材納入が3/21に終了し、システム運用可能に。

③県陸協審判委員会主催上級資質向上研修会の設営について

- 3/15(日)名古屋市中体連所有パソコンで研修(大型映像研修は不可能)
- * 名古屋市中体連、瑞穂事務所、市教委との調整済み
- 3/26(木)競技運営システムの作動が可能に⇒県陸協として研修会として位置づけ、精密機器との連携の確認を業者と行なう機会とする。
- * 名古屋市陸上競技協会、瑞穂事務所、市教委との調整済み

<各大会での講習研修>現在調整中

- 4/4・5 第1回名古屋地区陸上競技大会(名古屋地区陸協主催)
- 4/11・12 国体選考普及陸上競技大会(愛知陸協主催)
- 5/3~5 県高校総体名南北予選会(高体連主催)
- 5/15~17 東海インカレ大会(東海学連主催)
- * 大型映像の研修の計画(パナソニックとの連携)をお願いする。

2. 2014年度の検定報告

読売犬山ハーフマラソンのコース検定を、桑原（B級）平川（C級）岐阜の松田（C級）の自転車計測員3名と青木検定員、南技術役員、篠原施設委員顧問、尾張陸協7名のスタッフで行ないました。12月20日は雨の中大変でしたが、コースポイント確認とカリブレーションコースの作成をしました。21日は早朝6時から計測をしました。その後計算して距離調整をし、午後から現場で新ポイント作成をして、日本陸連への報告書作成に夕方までかかりました。

(写真提供：読売新聞社)



計測の準備

3. 全国検定委員会が3月21・22日に「味の素ナショナルトレーニングセンター」で開催されました。青木が出席して、規則の修正や全国の情報を意見交換しました。4月には、皆さんにお伝えします。

(青木 実)

審判委員会

3月8日（日）に開催されたマラソンフェスティバルは、多くの審判員の協力によって無事に終了することができました。今回のマラソンは定員が3000名増となり、運営面等で前年と違った苦労があったかと思えます。有難うございました。

4月から4名の方（飯田日出男、櫻井 勘、岩瀬義孝、野村弥寿男の各氏）がS級に昇格されます。おめでとうございます。今後の活躍を期待いたします。

本年度も競技規則の改正があり、3月下旬から各地区で伝達講習会を開いて理解していただき、4月の競技会から実施することになりました。とくに審判部署の名称が変更されたジュリー（Jury）：旧上訴審判員と、マーシャル（Marshal）：旧場内指令の2カ所は聞き慣れませんが、ご理解ください。

最後に、2016年度に日本選手権が本県で開催されるにあたり多くの審判員の確保が必要となります。審判構成については、今後委員会等で検討して行く予定ですが、日本陸連への登録を忘れないようお願いいたします。

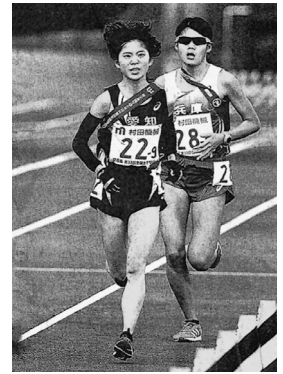
(小森 好治)

選手強化委員会

2015 都道府県対抗男女駅伝報告

「先頭と30秒？いや何秒離されていても抜きます」と前日のミーティングで予想タイムを宣言した鈴木亜由子選手（日本郵政）。この言葉が実現しそうな走りによって優勝

チームとの差を3秒まで縮めた女子駅伝でした。しかし今年ほど優勝に手が届くチャンスを逃した年はありませんでした。1区に起用したのは荘司麻衣選手（中京大学）。これまでの愛知は、鈴木亜由子選手を1区に起用することで上位でのレースの流れを作り入賞を狙う戦略でした。それが荘司選手の成長で1区に起用し、アンカーに切り札の鈴木選手を配置する優勝戦略が可能になったのです。更に昨年2区で区間賞を獲得した鷺見梓沙選手（豊川高）を今年も配置し、この区間でトップに立ち、中盤区間を持ちこたえ、アンカーにつないで優勝を狙うオーダーでした。



好走した鈴木選手

荘司選手が区間7位の位置で2区に繋ぐと、鷺見選手は前を走る選手を猛追し、あの小林祐梨子選手の驚異的な区間記録まであと6秒に迫る記録で6人を抜いてトップに立ちました。3区の中学生区間はジュニアオリンピック3000m第4位の松井優実選手（高豊中）がトップを守り、4区に中継しました。ここまでは予定通りの展開でした。4区の宮田佳菜代選手（ユタカ技研）は昨年この区間で2位の好走を見せましたが、今年は区間10位で順位を3位に落とし、5区の加治屋なご選手（小島プレス）も健闘しましたが4位とまた一つ順位を落としての中継でした。6区猿見田裕香選手（豊川高）は、国体少年B1500m予選で組1着の好走を見せ決勝進出を果たしながら、レース後に足の不調を訴え決勝を棄権。更に全国高校駅伝1区でまさかのブレーキとなり、悔しい思いをしてきた選手です。3000mの持ちタイム9分08秒に期待をして起用した選手でしたが、今回も大会に合わせた調整不足のためか前半から前を追う走りができずこの区間で2つ順位を落とし、優勝争いから1歩後退した展開となりました。しかし、中学時代愛知代表でこの大会を経験している7区川口桃佳選手（岡崎学園）が好走し5位と一つ順位を上げ、先行する大阪、京都、鹿児島を追う展開で6区中学生区間中野紗希選手（山田中）に襷は渡りました。昨年は3区の中学生区間でのブレーキで順位を落とした経験から今年も中学生区間がカギとなることは当然予想していました。しかし今年も中学生区間で離されたことが、アンカー鈴木亜由子選手の負担を大きくしてしまいました。大会前の選考合宿で素晴らしい走りを見せて起用する予定であった選手が発熱



2015 都道府県女子駅伝選手集合

のため選手変更を余儀なくされた時点で勝負はあったかも知れませんが、スタッフの詰めが起因したと一同反省しています。しかし、優勝まであと3秒と今年も更に前進した大会でした。

次に男子の部を報告します。男女都道府県駅伝は競技中各県スタッフの常駐が義務づけられています。大会開催中の不測の事態に対する大会本部からの指令に対し、各県が対応するためです。愛知も男子監督、駅伝部長、強化委員長の3名体制で監督室にあるNHK中継モニターを覗ながら各区間に指示を出していました。

1区山藤選手の異変は中継モニターの画面でしっかり確認され、その後の対応に終始しているうちにレースは終盤を迎え、アンカーの神野大地選手(青山学院大)をゴールに出迎える動きでレースは終了しました。

1区での中継で漣渡しがルールに抵触し失格したことは、NHKの中継で知りました。1区でこのような事態が起りましたが、後続選手の士気を堅守させ、愛知代表として最後までレースを完結させることにその後は終始した形でした。あのような事態にも関わらず選手・スタッフはそれぞれが持つ力を懸命に出す努力を続け、非公式ではありますが、2区から7区の順位は3位と健闘しました。最後まで懸命に漣を繋いだ選手に対して各方面の方々から心温まるお言葉を頂き、選手にもそれをねぎらいとして伝えました。しかし心ない非難の言葉が私の耳元に届いたのも事実です。また、大会運営に疑義を感じたのは私だけではありませんでした。現場の全責任を負う強化委員長として、大会後ではありましたが運営面に関して以下の点で広島陸協理事長に口頭で抗議をし、文書での回答を求めました。

- (1) 失格の判定を監督室にいる愛知県チームに伝えなかったこと。
- (2) 倒れ、這いつくばりながらも中継ラインに向かう山藤選手に対して中継所役員が「そうそうそれでいい。オーケー、オーケー」と声をかけ、その直後に山藤選手は漣を手放している点。これは選手に誤解させる役員の助力で、朦朧とした山藤選手が中継ラインに達したと勘違いし漣を手放したことが結果として投げてしまったと推測できること。

(1) の回答は、運営サイドの手落ちを認め陳謝されました。

(2) については中継所役員に調査したが、適切に運営されたとの回答でした。

1区山藤選手は脱水と低体温症の診断で、その原因はいくつか出されましたが、あくまでも推測の域に過ぎません。しかし、考えられる原因を今後もこのような事故防止策として講じなければなりません。駅伝部会で徹底した対策を来年から講じます。

今年はトヨタ自動車が全日本実業団優勝。箱根駅伝では青山学院大が初制覇し、それぞれの立役者となった大石港与選手と神野大地選手がメンバーに加わるドリームチーム的編成でした。女子の3秒のリベンジを旗頭に優勝を狙える布陣でした。特に神野選手は箱根5区山登りから2週間のインターバルで本大会に出場して区間3位の好タイムを出し、「平地の神野」がアピールできたレースでした。高校時代初めての全国大会として出場したこの大会でマークした区間4位を上回り「愛知産」の選手として今後もチーム愛知として活躍してくれるものと期待できます。また、レース以外での「神野フィーバー」もある程度予想は

していましたが、それ以上の盛況ぶりでした。愛知チームの一員として憧れの選手と同行でき、大会終了後一緒に記念撮影をしたりサインを貰ったりした中学生選手には大きな刺激になったと思います。これが都道府県駅伝の醍醐味と言って良いでしょう。



力走する神野選手

今年も両大会において、大会期間中愛知県人会の皆様からの激励やご厚情を頂きました。また、女子駅伝では稲垣会長より応援、ご高評を賜りました。愛知陸協からは今年もバスツアーを企画していただき、沿道、スタンドから熱烈な応援を受け、選手、関係者共々感激しました。

大会関係各位、選手起用に関してご配慮いただいた所属の皆様方、愛知陸協応援団の皆様には、この場をお借りしてお礼申し上げます。男女優勝を合言葉にチーム愛知の結束を図り、強化を推進していく所存であります。

(北村 肇)

第3回から続く郷土への熱き応援



都道府県男子駅伝 広島愛知県人会の方々と

愛知の皆様へ

第20回ひろしま男子駅伝お疲れ様でした。判定は不本意な結果となりましたが、たすきの重さ、同時に何事にも万全の準備と次への切り替えの重要性等、貴重な人生訓を得る事ができました。ありがとうございました。

2015.01.19 広島愛知県人会メンバー 小早川

記録委員会

記録委員会では競技者からの「県外競技会出場報告書」に基づいて報告のあった競技会のホームページ(HP)で

学校訪問②⑤ 安城学園高校 H26 東海高校総体女子総合優勝

今回は、昨年の東海高校総体女子の部で総合優勝を果たした安城学園高校を訪問しました。なお、東海高校総体で女子はさらにフィールドの部優勝、男子もフィールドの部で5位に入賞しています。もちろん県総体でも大活躍であり、女子は総合とフィールドの部で優勝、男子は総合4位、フィールドの部優勝でした。さらに全国高校総体では100mハードルの小林紗矢香選手が2位入賞を果たしています。また、県高校駅伝では女子が9位に入賞しました。過去にも全国高校総体で優勝者、入賞者を輩出している安城学園ですが、このところ総合力に目を見張るものがあります。いつものとおり、強い学校には何かしら強さの秘訣があるとの思いで取材をしました。

私学の強豪校の中には設備が充実していて、思う存分効果の上がる練習ができる学校があります。一方で地域の公園かと思われるような狭いグラウンドで成果を上げている学校もあります。安城学園は前者かなと思いつつ訪問したのですが、全くの考え違いでした。まず、校舎とグラウンドが隣接していないのです。事務室前で出迎えてくださった早川周吾先生に、車でグラウンドまで連れて行っていただきました。4、5分かかったでしょうか。グラウンドに着いて、また驚きました。直線コースは80mほどで、競技場に当てはめれば3レーンといったところでしょうか。200mほどの曲走路もありますが、2列で走る幅しかありません。内側では他の部活が活動しています。こうした中でも活躍しているからには何か工夫があるはず、そう思って周囲を見てみると、すぐにいくつかの物が目に入りました。まず、二つの倉庫。



手作りの倉庫

これらが顧問の先生が廃材を活用した手作りのものだとお聞きした時には、さもありなんと思いました。自らの手で不十分なところを補っていく姿勢は、多くの強豪校に見られるものです。また鉄パイプを組み合わせて高鉄棒のように作り上げた設備も目を引きました。多くの選手が上半身の強化や運動感覚の養成に取り組んでいましたが、これも手作りとのことでした。こうした創意工夫の姿勢は選手にも自然と伝わって、選手たちも個々に工夫をしながらトレーニングしているからこそ力を付けているのだ、そう思わずにはいられませんでした。

トレーニングの前半ではミニハードルを使ったジャンプ、バウンディングなど跳躍系の補助・補強運動に十分な時間がさかれています。訪問した日がたまたまそうした内容の日だったのかもしれませんが、あれだけ本数多くやっているからこそしっかりとした下半身ができ上がっているのだと感じました。女子でもミドルハードルの高さで連続ジャンプを行っていたのには、目を丸くするばかりでした。前述の高鉄棒と合わせて、基礎体力の向上が総合優勝を引き寄せたのではないかと思われたほどです。また練習時間はそれほど長くはありませんでしたが、密度の濃さも強さの要因の一つだろうと感じました。ナイター照明があり、その力を借りて冬場でも6時過ぎまで練習は行なわれました。それでも練習時間は2時間を少し超える程度でした。しかし、どこに休憩時間があつたかなと思われるほどメニューが次々とこなされていたのです。投げき陣の投げ込みも何本あったのでしょうか。男女とも二人一組で砲丸を一時間半近く投げ続けていました。



ジャンプ系補強運動

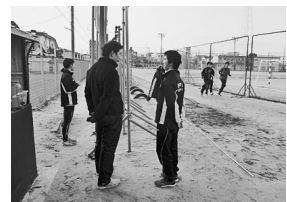
トレーニングを拝見していて強く感じたことをもう二つ述べておきます。一つは、全くもって選手の学年が分からなかったことです。外部の人間からすれば、選手たちの学年が分からなくてもそれは当然のことだということになるかと思われれます。しかし、多くの学校では男女別に、また学年別に集まるもので、外部の人間であってもだいたいこのグループが1年生、このグループが2年生と見当がつくものです。にも関わらず、安城学園では全く見当がつかないのです。学年の壁と言ってもいいものが、全くありません。男女の壁も見受けられませんでした。往々にして1年生が2年生の陰に隠れてしまうものですが、そうした雰囲気はみじんもありません。部員それぞれに、前に出ようとする積極性があるからなのでしょう。また、男女を問わず誰彼となく他の選手に声かけをしていました。そしてタイムトライアルでよいタイムが出るとみんなで歓声を上げていました。こうした雰囲気は練習の苦しさを和らげたり、部全体の雰囲気を高めたりします。お互いにアドバイスしあうことが、技術の向上につながります。こうした積極性や部員間の人間関係が総合優勝を引き寄せたようにも感じられました。

もう一つは、顧問の先生と部員との関係です。早川先生は現役選手として試合に出ておられることもあり、選手を指導するばかりでなく一緒にトレーニングもしておられました。先生の技術を目の当たりにできる選手たちは幸せです。よいものを見て、それが自分の中にインプットできるのですから。その高い技術に選手たちは信頼を寄せているのでしょう。熱心にアドバイスを求め、先生も熱心に答えておられました。親密な関係は選手間だけでなく、顧問の先生と選手の間にも感じ取ることができました。もう一人の顧問の石田桂先生はこの日は校務がお忙しかつたのですが、それでも校舎から離れたグラウンドに練習途中の時間帯と練習の最後に顔をお出しになりました。校務が忙しくても選手の方を常に見ていらっしゃる石田先生も、日頃は早川先生と同様に寄り添う形で選手に接していらっしゃるのでしょう。顧問の先生と選手たちが一体となって部を作り上げているように感じられました。

部員それぞれの積極性、そして部全体の温かな雰囲気、この二つが相まって、安城学園はこれからも活躍を続けて行くのだらうとの思いを抱きながら私はグラウンドを後にしました。



手作りの高鉄棒



選手に寄り添う早川先生

(取材文責・写真 大西敏功)

記録の確認をし、また HP にはない競技会については報告のあった競技者に問い合わせリザルト等を請求して確認しています。また全国の主要な競技会は各県陸協あるいは主催者の HP から必要に応じチェックし確認しています。

道路競技については途中の記録も公認されますので、大会要項や陸連の資料からコースの高低等を確認し公認、未公認の判断をして記録の情報を集めています。

2014年の記録集も、8月に前期分の各競技会リザルトとの照合を済ませ、11月下旬には記録集作成の準備に入りました。日本陸連100傑の資料、専門誌の資料作成に2重、3重のチェックをしてより正確さを求め、報告しています。記録集の編集には高校の部は野口一昭氏(尾張陸協記録委員長)、中学の部は名倉喜三郎氏(名古屋地区陸協記録情報副委員長)を中心に各地域の記録委員長を始め、各部門記録担当者からの正確なりザルト報告で作り上げ、3月1日には発行しました。

毎年お願いをしていますが、県外競技会の出場は陸協の承認を得て出場していると思います。かなりの競技者が県外競技会出場報告を怠っています。出場したら結果を必ず陸協事務所へ報告してください。

2014年に更新された愛知県記録は、一般男子:8種目延べ17、女子:8種目延べ13、ジュニア男子:3種目、女子:4種目延べ13、高校男子:3種目、女子:10種目延べ25(タイ記録を含む)、中学男子:1種目、女子:2種目、小学生女子:2種目でした。新種目としては、一般男子、高校男子300m、高校女子300m、2000mSC、やり投500gです。

以下、更新した県新の最高記録・新種目を記します。

一般男子

100m	10.29	寺田 健人(中京大)	[日本学生対校(熊谷) 9/6]
200m	20.69	寺田 健人(中京大)	[静岡国際(小笠山) 5/3]
300m	33.75	村瀬 翔太(中京大中京高)	[全国高校選抜(長居第二) 8/30]
100Km	6.46.47	高田 由基(愛知陸協)	[100Km世界選手権(カタール) 11/22]
10000mW	40.05.84	及川 文隆(東洋大)	[国士館大長距離(国士館大) 12/13]
5KmW	20.22	戸松 弘成(愛知教育大)	
		及川 文隆(東洋大)	[全日本競歩10KmW(輪島) 1/19]
4×100mR	39.43	愛知	(西垣佳哉・寺田健人・中澤悠哉・近藤晃)
			[国民体育大会(長崎) 10/20]
砲丸投	17.68	山元 隼(中京大クラブ)	[ゴールデンランプリ(国立) 5/11]

一般女子

300m	39.17	梶浦みずき(愛知高)	[全国高校選抜(長居第二) 8/30]
400m	54.15	市川 華菜(ミズノ)	[国民体育大会(長崎) 10/21]
3000m	9.00.89	鷺見 梓沙(豊川高)	[静岡長距離強化(小笠山) 10/11]
3000mSC	10.12.14	北本可奈子(名城大)	

			[日本選手権(あづま) 6/8]
5000mW	22.38.49	前川 知美(三菱自衛隊)	[中部実業団対抗(長良川) 5/10]
10000mW	46.16.79	前川 知美(三菱自衛隊)	[全日本実業団対抗(山口) 10/11]
マドレーラー	2.13.81	愛知高	(浜田奈央・一ノ瀬安葉・伊藤里帆・梶浦みずき)
			[愛知レディース(瑞穂) 7/6]
4×400mR	3.43.61	愛知高	(一ノ瀬安葉・吉田紗弓・伊藤里帆・梶浦みずき)
			[愛知高校総体(瑞穂) 5/25]

ジュニア男子

100m	10.36	近藤 晃(愛工大名電高)	[全国高校総体(小瀬) 7/31]
10000mW	40.05.84	及川 文隆(東洋大)	[国士館大長距離(国士館大) 12/13]
5KmW	20.22	及川 文隆(東洋大)	[全日本競歩10KmW(輪島) 4/19]

ジュニア女子

3000m	9.00.89	鷺見 梓沙(豊川高)	[静岡長距離強化(小笠山) 10/11]
4×400mR	3.43.61	愛知高	(一ノ瀬安葉・吉田紗弓・伊藤里帆・梶浦みずき)
			[愛知高校総体(瑞穂) 5/25]
棒高跳	3.60	今泉 友里(岡崎城西高)	[日本ジュニア選手権(瑞穂) 10/3]
ハンマー投	53.13	大久保祥子(長久手高)	[全国高校選抜(長居第二) 8/30]

高校男子

100m	10.36	近藤 晃(愛工大名電)	[全国高校総体(小瀬) 7/31]
300m	33.75	村瀬 翔太(中京大中京)	[全国高校選抜(長居第二) 8/30]
1000m	2.40.47	加藤 嵩大(一宮)	[尾張記録会(一宮) 11/1]

高校女子

100m	11.75	柴山沙也香(至学館)	[国民体育大会(長崎) 10/18]
300m	39.17	梶浦みずき(愛知)	[全国高校選抜(長居第二) 8/30]
3000m	9.00.89	鷺見 梓沙(豊川)	[静岡長距離強化(小笠山) 10/11]
2000mSC	6.56.19	向井 智春(至学館)	[全国高校選抜(長居第二) 8/31]
3000mSC	11.18.61	水谷 百花(中京大中京)	[愛知選手権(瑞穂) 7/20]
マドレーラー	2.13.81	愛知	(浜田奈央・一ノ瀬安葉・伊藤里帆・梶浦みずき)
			[愛知レディース(瑞穂) 7/6]
4×400mR	3.43.61	愛知	(一ノ瀬安葉・吉田紗弓・伊藤里帆・梶浦みずき)
			[愛知高校総体(瑞穂) 5/25]
棒高跳	3.60	今泉 友里(岡崎城西)	

- [日本ジュニア選手権 (瑞穂) 10/3]
- ハンマー投 53.13 大久保祥子 (長久手)
- [全国高校選抜 (長居第二) 8/30]
- やり投(500g) 52m27 森 風紗 (名城大附)
- [ユースオリンピック (南京) 8/25]

中学男子

- 4×400mR 3.25.75 東三河選抜
(前橋竣郎・高橋舞羽・中谷竜麻・鳥山由真)
- [東三河選手権 (豊橋) 10/19]
- ジャベリックスロー(参考) 69m68 藤井 瑞樹 (愛知陸協 (鬼崎))
- [ジュニアオリンピック (日産スタジアム) 10/31]

中学女子

- 4×400mR 4.01.79 大高
(江藤亜美・鈴木朱音・山口真知・柴崎五月)
- [名古屋地区新人 (知多) 9/23]
- 4種競技 2711点 (15.22 (0.6) -1.56-10.06-27.43 (0.1))
加藤 紗佳子 (美川)
- [愛知中学総体 (瑞穂) 7/30]

小学生女子

- 80mH 12.67 伊藤 凜乃 (TSM)
- [県小学生選手権 (瑞穂) 11/3]
- 5年走高跳 1.33 脇田ライフ 瑠梨果 (TSM)
- [県小学生選手権 (瑞穂) 11/3]
- (岡田 武彦)

女性委員会

第33回全国都道府県女子駅伝が、平成27年1月11日(日)に京都府西京極陸上競技場で開催されました。今年も、総務委員会との合同で「女子駅伝応援バスツアー」を企画し、京都へ応援に行ってきた。天候も良く、また道路の渋滞もなかった為、より早く到着することができました。競技場では、各区間の選手紹介が始まったところだったので、バックスタンドから選手紹介を見て、各区間の選手の見送りをしました。競技場での応援組は愛知選手団控えて挨拶をした後、1区のスタートをスタンドから声援しながら見送り、その後は会場内に設置された大型ビジョンでレースの様子を観戦し、最終ランナーのゴールを声援しました。コースでの応援組は、沿道で選手に声援した後、競技場へ戻り競技場応援組と一緒にゴールの声援をしました。



都道府県女子駅伝の応援団

1区から好スタートした愛知県チームは途中少し順位を落としましたが、最終ランナーの鈴木亜由子選手がものすごい追い上げをみせ、トラック内での最後の力走は応援者も立ち上がっての声援で大変盛り上がりました。鈴木選手は今年社会人となり、日本郵政に所属となりましたが、ふるさと選手として愛知県で走ってくれました。帰りに会った際に、「来年も愛知県で走ります」と心強い言葉を言ってくれました。来年こそは優勝を目指して頑張りたいと思いますので、皆さん応援も頑張りましょう。

平成26年度も、愛知県の女子アスリートの多くの活躍がありました。女性委員会は、次年度も女子アスリートが大きく羽ばたけるようにサポートしていくことと、日本選手権開催も決まりましたので、女性審判の増員と育成にも力を入れ、大会で活躍していけるように活動したいと思います。(谷崎 好美)

年誌資料・広報委員会

「愛知陸協広報」36～38号編集計画(案)

号数	発行月日	編集内容
「愛知陸協広報」36号	7/31	<ul style="list-style-type: none"> ・会長のことば ・専門委員会報告及び今年度の活動方針 ・4地区の活動状況及び今年度の活動方針 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(マラソンフェスティバル、国体選考、国体春季選抜、東海学生、県マスターズ、県高校総体、日本選手権、県高校定通、東海高校総体、県・東海混成、小学生リレー、愛知レディース等) ・理事会等会議報告 ・愛知陸協26年度収支決算報告 ・慶弔報告(協会会長表彰他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん㉑ ・名岐駅伝いまむかし㉒ ・クラブ紹介㉓ ・学校紹介㉔ ・陸上競技場めぐり㉕
「愛知陸協広報」37号	11/30	<ul style="list-style-type: none"> ・専務理事のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況 ・関係団体の活動状況 ・競技会報告(愛知選手権、県中学通信・県中総体、東海中総体、全日中、県ジュニア、県高校新人、日本ジュニア・ユース、国体、県小学生等) ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記(全国高校総体、国体他) ・慶弔報告(秩父宮章他) ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん㉖ ・クラブ紹介㉗ ・学校紹介㉘

「愛知陸協 広報」 38号	3/31	<ul style="list-style-type: none"> ・副会長のことば ・専門委員会報告 ・4地区の活動状況及び今年度の反省 ・関係団体の活動状況及び今年度の反省 ・競技会報告（県高校駅伝、県中学駅伝、市町村駅伝、東海学生駅伝、駅伝カーニバル、元旦競歩・長距離、全国高校駅伝、都道府県駅伝、読売犬山ハーフ、マラソンフェスティバル等） ・理事会等会議報告 ・競技会参戦及び観戦記（都道府県駅伝等） ・慶弔報告（県体協表彰他） ・連載 <ul style="list-style-type: none"> ・ホープさん㉑ ・クラブ紹介㉒ ・学校紹介㉓ ・陸上競技場めぐり㉔
---------------------	------	--

(新見 精三)

各地区報告

名古屋地区陸上競技協会

2014年度の陸上教室「瑞穂会場・知多会場」（谷理事担当）、「半田会場」（山内理事担当）、知多地区練習会（植田副理事長担当）、名古屋市ジュニア練習会（谷口理事担当）に多数の参加者を得て、普及委員会のメンバーを中心にして、各ブロック別に指導者の熱意で冬期トレーニングが実施されました。特に、12月20日に、瑞穂と半田では、特別講師として桐生祥秀選手を招聘（しょうへい）して、教室がとても盛大でした。これらの参加者が、4月からの競技会で大きな成果を発揮してくれると期待したいと思いません。



桐生選手を迎えての陸上教室

2013年度から名古屋地区の活性化のために、「マニフェスト」に従って取り組みました。日頃の地区競技会の準備・運営等において、時間の少ないところを皆さんの努力で、その取組が一步一步着実に前進していることが感じられます。昨シーズンの総括の中から出た課題を積極的に検討して改善を図りました。特に専門委員長会議を開催し、競技会の参加者増によるタイムテーブル上や競技会運

営上の問題をクリアーするための対策を検討しました。選手が大会に気持ちよく参加できる環境作りには、各役員に汗をかいていただいています。

2月10日に開催した理事会で、2015年度の新役員や事業計画と予算案が検討承認され、3月20日の地区総会で議決されました。

4月4・5日からスタートする第1回名古屋地区競技会からトラックシーズンがスタートします。瑞穂での競技会運営コンピュータシステムが、23年ぶりに大きく変わります。

2016年6月上旬に瑞穂で開催される第100回日本選手権に向けて、名古屋地区を中心に役員・審判員のご協力が必要となります。新役員体制で2015年度も頑張りますので、是非登録会員の皆さんは、元気な地区になるために、一人一人の力を貸していただき、各方面でのご協力をお願いします。

2015・2016年度名古屋地区陸上競技協会役員

会 長	坂井田 醇三		
副 会 長	青木 実		
顧 問	竹内 信雄		
理 事 長	砂子間 英明		
副理事長	植田 准次 大野木 伸幸	水野 久	小川 真一郎
常務理事	勝見 雅宏 南 康次郎	久米 裕明 吉越 明	新美 準人 田中 輝彦
理 事	原田 市子 江藤 照雄 佐々木 博幸 谷 政人 可知 裕行 高田 佳明 平野 高志	赤司 学 谷口 直土 鴻村 一寛 山田 貴久 牧野 薫紀 児玉 泰介 森 剛人	古旗 恵子 八田 定丸 斉藤 薫 小野田 隆 榊原 正弘 秋田 明憲
会 計	田中 輝彦	吉越 明	
秘 書	岡戸 文一	青木 良樹	
監 事	若松 良一	竹内 猛	

(青木 実)

尾張陸上競技協会

尾張陸上競技教室を12月13日（土）、1月10日（土）、2月7日（土）の3日間県営一宮陸上競技場で開催しました。今年度は、毎回500名程の参加があり、陸上競技場内だけでは十分な活動ができない状態になり、一部を多目的広場に移動させ指導者間の連携で無事終了することができました。指導者の熱意で冬期トレーニングが実施され、参加者が4月からの競技会で大きな成果を発揮してくれることを期待しています。来年度に向け改善点について話し合い、よりよい実施方法を検討していきたいと考えています。

平成26年度を締める最後の事業として、第62回尾張駅伝競走大会を1月18日（日）に県営一宮陸上競技場及び周辺周回コースで実施しました。本年はスタート及び中継点を陸上競技場内に戻し、スムーズな競技会運営ができました。6部門に117チーム（オープンを含む）が健脚を競いました。

成績は下記のとおりです。

一般男子の部 (21Km)

1	ぬまちゃんずA	1.09.18
2	愛知大学	1.10.51
3	尾張クラブ	1.15.34

高校男子の部 (21Km)

1	愛知黎明	1.06.03
2	一宮北	1.09.14
3	小牧南	1.10.16

高校女子の部 (18.9Km)

1	愛知黎明	1.10.39
2	津島北	1.12.12
3	岩倉総合	1.12.17

中学男子の部 (14.7Km)

1	宮田	49.23
2	犬山	49.52
3	犬山南部	50.26

中学女子 (14.7Km)

1	祖父江	55.17
2	布袋	55.41
3	古知野	56.06

26年度総まとめとしての尾張陸上競技協会表彰者について
優秀選手29名(小学生1名、中学生14名、高校生14名)
優秀指導者7名(中学生指導者2名・高校生指導者5名)

上記のとおり近年で最多の協会表彰者でした。3月22日開催の尾張陸上競技協会総会で受賞者へ表彰式を行いました。大きな成果があったシーズンでした。来年度の更なる飛躍を期待いたします。(小島 末広)

西三河陸上競技協会

第3回(1/24)の陸上教室で本年度の西三河陸協の行

事をすべて終了しました。

一昨年度までは、各回の参加者が700名前後であり、種目によっては個人へのきめ細かい指導ができにくいとの反省から、昨年度より第1回は中学生・第2回は高校生・第3回は中高生の選抜(全国大会入賞者表彰を含む)で実施しました。この時期のトレーニングの大切さをそれぞれの選手に再認識させることで、体力の強化・技術面の向上だけでなく、来シーズンへ向けての刺激にもなったと思います。来年度以降さらに効果的な教室となるよう、年度内に実施時期・場所・内容など強化部を中心に検討中です。

本年度の主だった競技会の結果、国体では、棒高跳(2位)山本聖途(トヨタ自動車)・10000mW(4位)前川知美(三菱自動車)・少年女子B走幅跳(8位)明星 光(豊田高)。高校総体では、100mH(2位)小林紗矢香・走高跳(5位)中島恭佑(共に安城学園)。全日中では、100m(6位)山本里菜・4×100mR(6位)安井萌一深町優衣一沖田梨珠一山本里菜(共に六ツ美北)。全国小学生陸上では、4×100mRで、女子(2位)安藤百萌一本田菜摘一稲垣瑠菜一大嶋紗弥・男子(3位)山並星南一谷口智紀一長田峻汰一松浦孝之(共に安城JAC)・走高跳(7位)易永花音(知立ジュニア)でした。

西三河は、もともと陸上競技の盛んな地域ですので、熱心な指導スタッフも多くみえます。それだけに選手層も厚くそれぞれの学校が切磋琢磨することにより、常連校だけではなく来年度はさらに多くの全国大会出場者の活躍を楽しみにしたいと思っています。

ホープさん ㊟

岩田 帆乃夏 選手(中京大中京高)



長崎国体にて

バルセロナオリンピック女子400mH優勝のサリー・ガネル(イギリス)は7種競技からの転向で金メダルを獲得、同大会100mで銅メダリストのイリーナ・プリワロワ(ロシア)は4年後のシドニー大会で400mHに出場し金を獲得しました。また、100mの選手であった為末大選手は、地元で開催する国体において得点獲得のために少年A400mHに出場し高校新記録で優勝、それがきっかけでこの種目の世界的選手に成長しました。このように400mHは他種目から転向(トランスファー)することで思わぬ成果が見込める競技です。ロンドンオリンピックに出場した混成競技の中村明彦選手(スズキ浜松AC)も同様の例です。

岩田帆乃夏の400mHチャレンジはトランスファーというより、本人の希望と県高校総体2日目のチーム得点稼ぎで始めたのがきっかけでした。積極的にこの種目を選択させなかったのはハードルのセンスがあまりにもなかったことが最大の理由です。利き足である左足で踏みきる際つま先が外に向く(トゥアウト)癖が修正できないため、ハードリング時に大きく外へ身体が飛ばされることから1回1回バランスを崩すフォームになります。また、接地前につま先が下を向く動きを修正する必要があり、これにも時間がかかると判断していたからです。400mのセカンド種目と位置づけていたこの種目をメインとし、集中して取り組ませたのは東海総体で400mが落選し、インターハイには400mHで出場が決まったことがきっかけとなりました。決められたインターバルを目標とする歩数でテンポ良く走る動きが要求されるこの種目の練習により、大きく後方に回転していた走りの欠点が修正でき、400mの記録(55.83)も大幅に伸びる相乗効果も生まれました。

未だハードルの技術には不安を残している岩田ですが、インターハイ準決勝敗退から次の目標を日本選手権出場に設定して東海選手権優勝により達成できました。また、幸運にも選んでいただいた長崎国体で自己記録を更新して3位入賞(59.76 予選59.64)を果たし愛知県に貢献できました。このレースでヘンプヒル恵さん(京都文教高)に負けたことが相当悔しかったらしく、喜びに湧く入賞者控室で大泣きして周囲を仰天させたことは「優勝を狙え」と送り出したコーチの指示を素直に守ったからです。大きく設定した次の目標は日本選手権入賞と日本高校記録樹立です。前向きに目標を大きくすればするほど大きな帆となり夏の強い風を受けて前進できる選手である岩田帆乃夏なら、1994年から破られていない県記録、県高校記録(58.92)は必ず破ってくれることでしょう。(北村 肇)



第3回陸上教室時 全国大会入賞者表彰

来年度安城競技場が検定のため、6月下旬より工事に入ります。その際、現在の二種から残念ながら四種へ変更となります。できる限り現状の施設設備を維持していただくようお願いしてありますが、フィールド内が人工芝となりますのでその材質によっては検定後、投てき種目の実施が危惧されます。せめて小中学生の種目だけでも公認大会が実施できる競技場を望んでいます。特に小中学生では交通の便・帰宅時間などの安全面も考慮しなくてはなりませんので、安城での競技会実施が望まれます。

ウェーブスタジアム刈谷の競技場内にあった磁気反転式白黒掲示板に代わって、大型カラー電光掲示板が新設されました。2/8に点灯セレモニーが行なわれ、使用可能となりました。来年度からの競技運営が一段とスムーズになることに感謝しています。(柴田 和秀)

東三河陸上競技協会

今シーズンを終えて

今年度も東三河陸上競技協会にとって、とても充実した1年でした。そこで、私の独断で10大ニュースを作ってみました。

第1位 トヨタ自動車が全日本実業団駅伝4年ぶり2回目の優勝

トヨタ自動車は、コニカミノルタ、日清食品グループとの三つ巴の争いを5区大石港と選手、6区田中幸秀選手、7区早川翼選手の連続区間賞で制し、2度目の優勝を果たしました。中でも、豊橋出身で順大時代に箱根駅伝でも区間賞を取ったことのある田中選手は、2位コニカミノルタを1分30秒も引き離し、優勝を決定づける圧巻の走りを見せました。

第2位 箱根駅伝初優勝の青山学院で東三河出身の2選手が活躍

神野大地選手の快走に目を奪われがちですが、青山学院の優勝に貢献した2名の東三河出身者がいたことも忘れないでほしいものです。花の2区を区間3位で走り流れを作った一色恭志選手(豊川卒)と最終10区を区間2位で走り優勝のテープを切った安藤悠哉選手(豊川工卒)です。

第3位 全国中学総体での大活躍

8月18日～20日に、香川県で行なわれた全日本中学校選手権には、11校から個人11名とリレー1チームが出場を果たしました。そして、男子1500mで田中蒼大選手(南

稜)が7位、4×100mRで高師台が8位に入賞しました。
第4位 豊川女子が全国高校駅伝連覇逃すも8年連続入賞
第5位 田原陸上クが全国小学生クロスカントリーで6位入賞
第6位 豊橋出身の鈴木亜由子選手(日本郵政)が千葉国際駅伝で区間賞
第7位 鷺見梓沙選手(豊川)が高校総体女子1500mで3位入賞
第8位 新庄理子選手(豊橋陸上ク)が全国小学生陸上競技交流大会6年女子100mで3位入賞
第9位 松井優実選手(高豊中)がジュニアオリンピック女子Aクラス3000mで4位入賞
第10位 東三河勢の全国中学駅伝出場が5年ぶりに途絶える

最後に、来シーズンの選手諸君のさらなる活躍を期待するとともに、選手が活躍できる環境づくりに協会としても力を注いでいきたいと思ひます。(兵藤 重二)

関係団体報告

小学生友の会

平成26年度日清カップ全国小学生クロスカントリー交流大会にて田原陸上クラブが6位入賞を果たしました。同チームは2年前にも同大会に参加をしましたが、チーム内に引率資格を持つコーチがおらず、東三河小学生担当が監督として引率しました。今回はチームコーチが資格を取ることにより、監督・コーチ共に日常的に指導を行なっている指導者が引率することができ、子どもたちにとっても適度な緊張感をもって試合に臨むことができました。近年愛知県のチームが同大会で良い成績を残しています。27年度も県内の予選を経て、全国大会で良い成績を残せるように小学生友の会各団体が切磋琢磨して競い合っていたらと思います。

13位から6位に順位を上げた
6区吉居くん(区間2位)

参加者集合写真

27年度よりいくつかの変更点がありますので、お知らせします。

①東海大会個人種目の実施

本年度より5・6年生の個人種目においても、東海大会が実施されることになりました。参加者は各県5人です。本県では県小学生リレー大会入賞者(2～6位)を推薦する予定です(1位は全国大会に参加)。

②県小学生選手権大会種目変更

投擲種目としてソフトボール投を実施してきましたが、今大会よりヴォータックス投を採用します。平成28年より日清カップ全国小学生陸上競技交流大会の投擲種目がヴォータックス投に変更されることになったので、県として先行実施をするためです。参加資格についてはソフトボール投の記録も認められます。なお、今年度より各地区

にてヴォータックス投が競技会でも実施されます。ヴォータックス投の投法の詳細がまだ示されていないため、本県独自のルールではありますが、以下の投法のみを有効試技とすることを検討しています。

「投げ方は親指と人差し指の間から尾の部分を出すように握って投げる方法とする」



ヴォータックスの握り方

変更点が多く加盟団体の皆様にはご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力いただきますようよろしくお願い致します。
(石田 伸)

中小体連

今シーズンを終えて

県中学駅伝 (11/15：新城)

本年度最後の主催事業となる県中学駅伝は、男子は岡崎市立矢作中学校、女子は江南市立古知野中学校がともに初優勝を飾りました。

全国中学校駅伝大会は12月14日に山口県のセミナーパークで行なわれました。矢作中が29位、古知野中が21位という結果でしたが、両チームともに愛知県の代表としてよく頑張ったと思います。選手の頑張りを讃えるとともに、宮澤先生(矢作中)、酒井先生(古知野中)のこれまでのご指導に敬意を表したいと思います。

また、本大会の開催にあたっては、平成22年度より5年間、東三河支部の関係各位には絶大なご支援とご協力をいただきました。この場を借りて厚くお礼申し上げます。

平成27年度からは東尾張知多支部(半田)での開催となります。支部の先生方を中心に、すでにさまざまな場面でお世話になっていますが、引き続きお力添えをいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

日本陸連U16東海ブロック研修合宿 (1/10・11：エコバ)

本事業は日本陸連より補助金をいただき、昨年より開催しています。今年も東海4県より各40名が参加し、短距離・ハードル・走高跳・棒高跳・走幅跳・砲丸投の6ブロックに分かれて行ないました。本県の参加者は表のとおりです。この合宿の特徴として、種目練習だけでなく、競技者としての心構えや、座学形式でそれぞれの種目について学んだり、栄養指導など必要に応じて取り入れながら進めていることが挙げられます。

この合宿後、さまざまな場面で顧問の先生や参加した選手から「ヒントをつかみ、動きがよくなった」、「練習日誌を書く習慣がついた」、「校内の練習を引っ張っていけるようになった」といった内容の嬉しい声も多くいただきました。

た。

この合宿に参加した選手が、来るべきシーズンで活躍することを期待しています。

No.	種目	名前	学年	性
1	短距離	大崎 雅人	1	男
2	短距離	伊藤 彰海	2	男
3	短距離	戸田 健太	2	男
4	短距離	中谷 竜麻	2	男
5	短距離	小笠原海貴	2	男
6	走高跳	堀井 健史	2	男
7	走高跳	森 康太	2	男
8	棒高跳	増田 智也	2	男
9	棒高跳	針生 祥平	2	男
10	棒高跳	北浦 裕介	1	男
11	棒高跳	福澤 了	1	男
12	走幅跳	藏田 源貴	2	男
13	走幅跳	神谷 翔矢	1	男
14	走幅跳	河合 優作	2	男
15	短距離	服部 匡恭	2	男
16	短距離	定盛 匡哉	2	男
17	短距離	生田奈緒子	2	女
18	短距離	中山 愛理	1	女
19	短距離	駒木 遥	2	女
20	短距離	天神 綾音	2	女
21	ハードル	山本 遼	2	女
22	ハードル	蛭川 真未	2	女
23	走高跳	小笠原早矢楓	2	女
24	走高跳	塩澤日菜子	2	女
25	走幅跳	富塚日南々	2	女
26	走幅跳	三輪 未来	1	女
27	走幅跳	神取 空那	2	女
28	砲丸投	高井 萌香	2	女
29	砲丸投	大島 静流	2	女
30	砲丸投	平岩 志萌	1	女
31	短距離	土射津佑起	2	男
32	ハードル	原川 大樹	1	男
33	走幅跳	大矢 健疏	2	男
34	走幅跳	秋田 洸希	2	男
35	短距離	渡辺明日香	1	女
36	短距離	丹羽 優菜	1	女
37	ハードル	細田 蒼葉	1	女
38	走幅跳	村松 萌	2	女
39	走幅跳	竹下 亜美	2	女
40	走幅跳	宮川 愛海	1	女

全国ジュニアオリンピック標準記録の変更について

(男子) A・200m 22.50 → 22.40
 (女子) A・200m 25.50 → 25.40
 A・100mYH 14.70 → 14.60 (ユース規格)
 14.40 → 14.30 (中学規格)

専門誌にも掲載された内容ですので、すでにご承知の方も多いかと思いますが、上記の種目で標準記録の引き上げが検討されています。

多くの先生方に助けていただき、1年を終えることがで

きました。感謝しております。今後も「選手にとってよりよい環境づくり」をテーマに活動していきたいと考えております。ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。
(丹羽 智行)

高体連

平成 26 年度を総括して

平成 26 年度も高体連としては 3 月末に高知県で開催された全国選抜合宿で年度を終えました。本県からは中京大中京高校の岩田選手と政岡選手が参加しました。年度末の忙しい時期であり、また引率教員がつかなくてはならない、制約の多い合宿ではありましたが、中京大中京高等学校の協力により派遣することができました。関係の皆さまに感謝いたします。

年末の全国高校駅伝大会には、男女併せて 3 チームを派遣することができました。男子の記念大会枠を豊川高が獲得し、昨年度の女子の悔しさを晴らしてくれました。女子の豊川高校は優勝候補の一角であり、選手は精一杯健闘をしましたが、惜しくも 6 位入賞に終わりました。来年度以降の活躍に大いに期待をしたいと思います。男子は 20 年ぶりに都大路に復活をした愛知高校が、8 位に入賞をしました。初入賞であり、選手の頑張りに敬意を表したいと思います。豊川高校も惜しくも入賞は逃しましたが、中長距離でのインターハイ出場者がいない状態からの健闘は賞賛に値すると思います。来年度は京都開催 50 年記念大会です。男女とも地区代表枠がありますので、愛知県として是非獲得し、男女とも 2 校出場を目指し、頑張っていきたいと思っています。

平成 27 年度は和歌山県で全国高校総体が開催されます。7 月 29 日から 8 月 2 日の予定です。長崎国体で女子 A 100m に優勝した至学館校高校の柴山選手をはじめ、秋のシーズンで活躍をした 1、2 年生の有望選手が多数います。ここ数年は総体での優勝者が出ていませんので、来年こそはインターハイチャンピオンが誕生することを期待し、頑張っていきたいと思っています。皆様のご協力をお願いいたします。
(石井 哲郎)

高体連定通部

今シーズンを終えて

平成 26 年度の各定通陸上競技大会が、皆様のご支援とご協力により予定通り開催できましたことにお礼申し上げます。

夏の全国定通陸上大会並びに秋季県大会が、相次ぐ台風の襲来により開催できるか心配されました。全国定通陸上大会においては、台風の影響を受ける厳しいコンディションにもかかわらず選手が予想以上に頑張りを見せ、延べ 21 種目で入賞を果たしました。都道府県対抗では 11 年ぶり 15 回目の女子総合優勝、男女総合においても 3 位という素晴らしい成績を残すことができました。その中でも、女子走高跳の山口浩美さん(豊橋屋)は連続優勝を成し遂げ、来シーズンも 3 連覇はもちろん、昨年度自身が樹立した大会記録の更新を目指しています。新戦力の女子 400m の松屋 空さん(科技刈谷)も山口さんに続けと、連覇並びに 200m との 2 種目制覇を狙っています。しかし、愛知県選手団としては、今年度の全国大会で活躍した生徒の半

数近くが卒業を迎えます。来シーズンを見据えた秋季県大会では、新しい力の台頭もありましたが、選手層が薄く総合力は心配されます。それでも、一丸となって競技力向上に努め、来シーズンは男女総合優勝を目指して取り組んでいきたいと思っています。

なお、平成 27 年度の県大会も例年の日程で開催できることが決まりました。定時制通信制陸上競技がますます発展できますように、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



女子走高跳連続優勝 山口浩美(豊橋屋) 女子 400m 優勝 松屋 空(科技刈谷)
(牧野 明善)

学連

来シーズンに向けて

2014 年のシーズンは、東海学連の選手における国際的な活躍は前年、前々年度と比較すると少なかったが、多数の東海学生記録が誕生した。

男子

200m：寺田 健人(中京大 3 年) 20 秒 69
10kmW・20kmW：戸松 弘成(愛教大 3 年)
40 分 53 秒・1 時間 24 分 25 秒
4×100mR：中京大 39 秒 26
(与那国 塁・寺田 健人・丹羽 勇揮・田村 朋也)
4×400mR：中京大 3 分 05 秒 57
(中川 滋貴・屋貝 博文・北島 寛也・田村 朋也)
走幅跳：松原 瑞貴(岐経大 4 年) 7m80
(東海学生タイ記録)
三段跳：佐脇 匠(愛教大院 1 年) 16m13
円盤投：湯上 剛輝(中京大 3 年) 53m62

女子

3000mSC：北本可奈子(名城大 2 年) 10 分 12 秒 40
10000mW・10kmW：五藤 怜奈(中部学大 1 年)
45 分 04 秒 07・46 分 15 秒

2015 年シーズンに向けては、武漢アジア選手権、北京世界選手権、ユニバーシアードなどの国際大会が開かれるため、そこでの活躍が期待される。

まず注目は世界ジュニアの 10000mW で 6 位入賞を果たし、1 年生ながら日本インカレも優勝した五藤怜奈(中部学大)で、シニアの大会における活躍が楽しみである。また、昨年マレーシアオープンの 100m・200m で優勝した寺田健人(中京大)には日本代表選手としてアジア選手権、ユニバーシアードなどでの活躍が期待される。昨年日本陸連 U23 のヨーロッパ遠征に参加した荘司麻衣(中京大)にはユニバーシアードにおいて前回大会(ロシア・カザン)同様メダル獲得の期待がかかる。

昨年男子三段跳において 16 m 13 の東海学生記録をマークし、日本選手権 2 位入賞を果たした佐脇 匠(愛教大院

1年)、男子円盤投で53m62の東海学生記録を樹立した湯上剛輝(中京大3年)、男子ハンマー投で昨年の日本インカレ2位入賞の墨 訓熙(中京大)、昨年の日中韓対抗女子800mで4位入賞した竹内麻里子(中京大)らには、日本インカレのみならず日本選手権での活躍が期待される。

今年は国立競技場の改修に伴い日本インカレが9月11～13日に長居競技場(大阪)で、また西日本インカレが東海学連主催で6月5～7日に長良川競技場(岐阜)で開催される予定である。(本田 陽)

実業団

実業団の今シーズンを終えて

実業団の2014年度は、トラック・フィールド種目より長距離種目が目立ったシーズンでした。特に駅伝では、ニューイヤー駅伝でトヨタ自動車が4年ぶり2回目の優勝を果たしました。5区(大石選手)、6区(田中選手)、最終7区(早川選手)が区間賞を獲得して、終盤は独走態勢を築きました。



優勝テープを切るアンカー早川選手



2度目の優勝を果たしたトヨタ自動車チーム

女子の実業団駅伝では、豊田自動織機が4位に入賞し、来年の全日本実業団駅伝の出場権を獲得しました。2区では、新人の福田選手が区間賞を獲得しました。女子は、今年度の入賞(8位以内)で来年度の出場権が獲得できるシステムに変更になり、2015年度予選は全国統一の予選となり、九州・福岡にて開催する運びとなりました。

トラック・フィールドでは、女子短距離の市川選手(ミズノ)、男子棒高跳の山本選手(トヨタ自動車)の復調も

見られましたが、新年度はさらなる活躍を期待したいと思います。2015年度は、トラック・フィールド種目にも優秀な選手が実業団に加入する予定ですので、長距離に負けない成績を期待しています。(中村 博之)

愛知陸協 OB・OG 会

愛知陸協 OB・OG 会新年懇親会

今年も1月22日・23日、天然温泉ホテル長島ニューハートピア温泉へ泊で行ってまいりました。名古屋駅大閘通り口の西、ビックカメラ前で集合し、ホテルのバスで移動しました。ゆっくり温泉につかり、懇親会は大いに盛り上がり、お互いの親睦を深めることができました。宴会後ホテルのバスでなばなの里のウインターイルミネーションを見学し、壮大なイルミネーションに大いに感動することができました。参加者は27名でした。

新年度は、7月18日(土)愛知選手権一日目に競技終了後、総会及び懇親会、10月に日帰り旅行を予定しています。多くの皆さんのご出席をお願いいたします。



ホテル前にて

(村瀬雄一郎)

マスターズ陸上

心豊かな長寿社会への貢献役

平成26年12月7日(日)に全日本マスターズ駅伝大会が山口市の山口きらら博記念公園で開催されましたが、愛知は愛知駅伝と日程が重なったため参加しませんでした。各市町村の陸上競技関係者にとって、愛知駅伝は一大イベントとなっています。マスターズの選手、役員とも地元で中心的存在として活動している方が多いため、大会行事から抜けることができないという事情がありました。特に、M50の下川勝彦さんには前人未踏の同クラス5年連続区間賞が懸っていましたので、断腸の思いで欠場を決定いたしました。

平成27年3月21日(土)に岡崎市シビックセンターで平成26年度総会を開催しました。平成26年度の事業報告、決算、平成27年度の事業計画、予算が承認されたほか、第15期の役員が承認されました。

愛知マスターズ連盟は、全国大会への参加者数やそこでの活躍、登録会員が増加しているなど、全国的にも注目される存在となっています。その要因の一つとして役員の高齢が若いということと、女性が多いという特徴が挙げられるのではないかと思います。

今回選任された理事22人の平均年齢は、58.3歳、女性

が8人ということで、連盟運営にも活気があると自負しています。その表われとして平成25年度総会では、愛知マスターズ初の女性議長が大任を果たしました。また、平成26年度総会は46歳の、マスターズ陸上の世界ではまだ青二才と言われる年齢の「若者」が、議長の大任を果たしています。このように愛知マスターズでは代替わりが順調に進んでおり、このことが活気と会員の増加につながっているのではないかと思います。

平成27年度から競技の年齢クラス区分に18歳～20歳未満、20歳～24歳、25歳～29歳が新設されました。これにより18歳以上で学連に登録していない陸上競技愛好者が、マスターズ陸上の大会に参加できることになりました。記録もマスターズ記録として正式に公認されることになりました。

これは高校までの登録者は多いのですが、高校を卒業するとほとんどの選手が陸上競技から離れていきます。そのことは、陸協の登録者数を見れば明らかです。陸上競技から離れていく原因は種々あるかと思いますが、離れて行く選手がマスターズ陸上の世界で一人でも多く続けてくれればとの思いがあります。

マスターズ陸上の本来の理念とは少し離れていくのかも知れませんが、学連に登録していない（できない）陸上競技愛好者の受け皿として、マスターズ陸上が活用されるのであれば、陸上競技界全体から見ればメリットのあることではないかと思います。

18歳～29歳の若い選手の参加をお待ちしています。

第15期 愛知マスターズ陸上競技連盟役員

会長：永田 敏也（豊田市）
 副会長：松本 幸人（豊田市） 四戸 光男（豊田市）
 兼理事長：佐野 昭二（高浜市）
 事務局長：下川 勝彦（豊田市）
 名古屋支部長：小島 登行（名古屋市）
 尾張支部長：柘植 孝之（小牧市）
 西三河支部長：長尾 典子（岡崎市）
 東三河支部長：畠中 一起（豊川市）
 理事：金澤 満（豊橋市） 佐藤 武夫（稲沢市）
 新美 信夫（半田市） 宮崎 幸子（知立市）
 林 啓海（尾張旭市） 碓井由紀子（豊川市）
 八代香津子（愛西市） 永山 宏智（東浦町）
 渡辺 実（一宮市） 堀井 愛（常滑市）
 鮫島 教子（岡崎市） 宮本 百合（一宮市）
 北河 紀人（豊橋市）

監事：加藤 次男（名古屋市） 鈴木 一郎（豊田市）

日本マスターズ連合正会員：小島 登行（名古屋市）

愛知陸協派遣理事：佐野 昭二（高浜市）

（佐野 昭二）

競技会報告

平成26年度愛知県高等学校駅伝競走大会

2014年11月2日（日）

コース：知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
 男子：7区間 42.195km 女子：5区間 21.0975km

男子成績

1	愛知	2.07.50		
	（三輪軌道・山下和希・山藤篤司・青木祐人・水野見良・飯島康介・多和田涼介）			
2	豊川工	2.08.58	5	岡崎城西 2.12.51
3	豊川	2.09.17	6	愛工大名電 2.13.31
4	中京大中京	2.11.48		

区間賞	1区	谷川貴俊（豊川）	30.44
	2区	長谷川令（豊川）	08.30
	3区	山藤篤司（愛知）	24.30
	4区	青木祐人（愛知）	24.24
	5区	ワイセラサイモン・ムワンギ（豊川）	08.30
	6区	飯島康介（愛知）	15.04
	7区	小野田勇次（豊川）	15.00

女子成績

1	豊川	1.08.29		
	（鷺見梓沙・堀 優花・森藤 凧・榊原海紗・猿見田裕香）			
2	岡崎学園	1.10.53	5	至学館 1.13.28
3	中京大中京	1.12.38	6	岡崎城西 1.13.42
4	千種	1.13.16		

区間賞	1区	鷺見梓沙（豊川）	18.35	区間新
	2区	堀 優花（豊川）	13.24	
		西河原瑞（岡崎学園）	13.24	
	3区	森藤 凧（豊川）	10.03	
	4区	榊原海紗（豊川）	09.50	
	5区	猿見田裕香（豊川）	16.37	

第54回中部実業団対抗駅伝

2014年11月16日（日）

コース：伊良湖港～はなとき通り 7区間 83.3km
 （※今年度は、全区間コース変更）

成績（本県分のみ）

1	トヨタ自動車A	4.02.11		
	（藤本 拓・ジョセフ カマシ・田中秀幸・大石港与・早川 翼・松本賢太・窪田 忍）			
3	トヨタ紡織	4.08.29	6	中央発條 4.12.03
4	愛知製鋼	4.09.21	7	トーエネック 4.16.22
5	愛三工業	4.09.27		

区間賞	1区	藤本 拓（トヨタ自動車A）	36.40
	3区	田中秀幸（トヨタ自動車A）	33.00
	5区	早川 翼（トヨタ自動車A）	37.19
	6区	松本賢太（トヨタ自動車A）	26.24
	7区	窪田 忍（トヨタ自動車A）	38.02

第63回東海高等学校駅伝競走大会(男子)

2014年11月23日(日)
 コース：知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
 7区間 42.195km

成績(太字は愛知県分)

- 1 **豊川** 2.05.59
 (谷川貴俊・太田優風・長谷川令・小野田勇次・稲垣竜弥・サイモン ムワンギ・石黒和寿)
- 2 加藤学園 2.07.22 5 浜松日体 2.09.03
- 3 **愛知** 2.07.55 6 島田 2.09.41
- 4 中京 2.08.57

- 区間賞 1区 太田智樹(浜松日体) 29.42
 2区 市川唯人(伊賀白鳳) 08.41
 3区 青木祐人(愛知) 24.16
 4区 小野田勇次(豊川) 24.19
 5区 稲垣竜弥(豊川) 08.28
 6区 サイモン・ムワンギ(豊川) 14.53
 7区 稲田峻大(豊川工) 14.55

第25回東海高等学校駅伝競走大会(女子)

2014年11月23日(日)
 コース：知多運動公園陸上競技場～市道北浜金沢線
 5区間 21.0975km

成績(太字は愛知県分)

- 1 **豊川** 1.09.06
 (田中美帆・山田日菜野・瀧 紋奈・榊原 海紗・猿見田裕香)
- 2 **岡崎学園** 1.10.13 5 常葉学園菊川 1.12.20
- 3 土岐商 1.11.08 6 **至学館** 1.12.31
- 4 島田 1.11.20

- 区間賞 1区 西河原瑞(岡崎学園) 19.24
 2区 秋山瑠奈(島田) 13.13
 3区 瀧 紋奈(豊川) 09.59
 夏目蒼衣(岡崎学園) 09.59
 4区 榊原海紗(豊川) 09.42
 5区 猿見田裕香(豊川) 16.20

第9回愛知県市町村対抗駅伝競走大会
 2014年12月6日(土) 愛・地球博記念公園 11区間 32.9km

順位	市の部		町村の部	
1	豊田	1:41:04	東浦	1.49.13
2	岡崎	1.42.27	阿久比	1.51.44
3	名古屋	1.42.32	東郷	1.52.20
4	豊橋	1.43.30	大口	1.53.28
5	田原	1.44.30	美浜	1.53.37
6	豊川	1.44.43	幸田	1.53.40
7	一宮	1.45.49	武豊	1.53.40
8	江南	1.46.53	蟹江	1.54.08
9	東海	1.46.58	設楽	1.56.43
10	西尾	1.47.24	豊山	1.57.28

区間賞(○数字は区間を示す)

市の部

- ①中野 紗希(名古屋)
 ②蝦夷森章太(江南)
 ③加藤 乃愛(蒲郡)
 ④松井 優実(豊橋)
 ⑤大上 颯麻(豊田)
 ⑥深津希瑠亜(豊田)
 ⑦井幡 政等(大府)
 ⑧荘司 麻衣(瀬戸)
 ⑨向井 智香(名古屋)
 ⑩小島 宏友(豊川)

町村の部

- ①猪塚 真希(東浦)
 ②伊神 航(東浦)
 ③岸岡 奈津(武豊)
 ④下山 彩乃(大口)
 ⑤古田 拳也(大口)
 ⑥家田 明門(南知多)
 ⑦江本 悟司(東浦)
 ⑧竹内麻里子(阿久比)
 ⑨加藤 遥香(東郷)
 ⑩西嶋 雄伸(美浜)
 ⑩植田 陽平(武豊)
 ⑪平岩 篤弥(幸田)

⑪山口 浩勢(知多)

モリコロ賞

市の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	岩倉	35	14	21	1.49.15
2	新城	25	12	13	1.47.39
3	一宮	18	7	11	1.45.49
3	尾張旭	38	27	11	1.51.30

町村の部

順位	チーム	昨年度順位	今年度順位	上昇順位	タイム
1	大口	8	4	4	1.53.28
2	蟹江	11	8	3	1.54.08
3	阿久比	3	2	1	1.51.44
3	東郷	4	3	1	1.52.20
3	美浜	6	5	1	1.53.37
3	大治	13	12	1	2.00.15
3	飛鳥	15	14	1	2.01.53

第76回東海学生駅伝対校選手権大会

2014年12月7日(日) コース：知多半島一周 7区間 63.5km

男子成績(本県分のみ)

- 1 中京大 A 3.21.49
 (米谷卓也・山口泰輝・今川大輔・瀧石 凌・鈴木紀公・濱吉涼介・於久幸大)
- 4 愛工大 3.24.24 5 名大 A 3.24.41

- 区間賞 3区 今川大輔(中京大 A) 25.17
 4区 唐澤研太(愛工大) 26.57
 5区 鈴木紀公(中京大 A) 32.46
 6区 吉田新規(愛工大) 17.05

第8回東海学生女子駅伝対校選手権大会

2014年12月7日(日) コース：知多半島半周 5区間 26.6km

女子成績(本県分のみ)

- 1 名城大 A 1.28.19
 (北本可奈子・松山芽生・湯澤ほのか・安原 光・村岡実生)

2	中京大 A	1.31.01	4	東海学園大	1.37.47
3	愛教大	1.34.21	5	名大	1.39.31

区間賞	1区	北本可奈子 (名城大 A)	11.53
	2区	松山芽生 (名城大 A)	13.30
	3区	荘司麻衣 (中京大 A)	18.11 区間新
	4区	安原 光 (名城大 A)	16.05
	5区	村岡実生 (名城大 A)	27.59

第22回全国中学校駅伝大会

2014年12月14日(日)
山口県セミナーパーク・クロスカントリーコース
男子の部(6区間18km) 女子の部(5区間12km)

男子成績(本県分のみ)

第29位 岡崎市立矢作 59.19
(長谷部航・宇都木秀太・伊藤礼人・伊藤太貴・増田大朗・脇田晃秀)

女子成績(本県分のみ)

第21位 江南市立古知野 43.15
(後藤愛里紗・藤原あい佳・水谷真子・齊藤千花・安井佳苗)

第34回全日本実業団対抗女子駅伝

2014年12月14日(日)
松島町文化観光交流館前～仙台市陸上競技場(宮城コース)
(6区間42.195km)

成績(本県入賞分のみ)

第4位 豊田自動織機 2.17.50
(沼田未知・福田有以・林田みさき・ワイナイナ ムルギ・蘆下明音・小林祐梨子)

区間賞 2区 福田有以(豊田自動織機) 12.13
他にユタカ技研、愛知電機が出場。

2014年駅伝カーニバル

2014年12月20日(土) 庄内緑地公園周回コース

成績

男子一般(5区間16.1km)

1	愛知教育大	49.54		
	(鶴田泰士・曾我直崇・江口京弥・石川 駿・杉村智人)			
2	愛知大	51.17	5	南山大 53.39
3	名古屋大	51.56	6	大同特殊鋼 DNS
4	中部大	52.04		

区間賞	1区	山田智也(南山大)	14.13
	2区	曾我直崇(愛知教育大)	14.18
	3区	渡邊晴哉(愛知大)	06.50
	4区	石川 駿(愛知教育大)	07.03
	5区	杉村智人(愛知教育大)	06.50

男子高校(一般に同じ)

1	愛工大名電	48.40		
	(鬼頭直己・山中創介・水谷友哉・堤 完一・大川隼平)			
2	豊橋南	49.09	5	至学館 50.19

3	愛産大三河	49.38	6	豊橋東	50.19
4	千種	49.46			

区間賞	1区	鬼頭直己(愛工大名電)	13.55
	2区	持田顕人(千種)	14.22
	3区	伊藤哲矢(豊橋南)	06.43
	4区	堤 完一(愛工大名電)	06.38
	5区	大川隼平(愛工大名電)	06.42

女子一般高校(4区間11.5km)

1	千種	39.26		
	(高橋未奈・岩田奈央・加藤遥香・佐光菜々子)			
2	愛知黎明 A	39.31	5	愛工大名電 42.32
3	愛知教育大 A	39.52	6	愛知教育大 B 43.00
4	至学館	40.34		

区間賞	1区	高橋未奈(千種)	15.54
	2区	安藤実来(愛知教育大 A)	07.49
	3区	杉浦穂乃加(愛知黎明 A)	07.31
	4区	佐光菜々子(千種)	07.27

男子中学(4区間9.2km)

1	美川 A	28.06		
	(岩瀬大起・宮石一誠・藤田研太・徳本 力)			
2	竜海 A	28.17	5	岡崎北 A 28.34
3	逢妻 A	28.24	6	岩津 A 28.34
4	六ツ美北 A	28.27		

区間賞	1区	山盛翔大(名南)	06.48
	2区	宮石一誠(美川 A)	06.59
	3区	藤田研太(美川 A)	06.43
	4区	植田雅弘(高橋)	06.47

女子中学(男子に同じ)

1	矢作 A	31.46		
	(伊藤志帆・夏目紗希・細井衿菜・杉本美佑)			
2	竜海 A	31.57	5	矢作北 32.18
3	竜南 A	32.00	6	甲山 A 32.25
4	六ツ美北 A	32.16		

区間賞	1区	宇野佑紀(常磐)	07.49
	2区	相場里咲(豊橋南稜 A)	07.42
	3区	富田明日香(竜南 A)	07.38
	4区	浦野真由(六ツ美北 A)	07.47

第26回全国高校駅伝(女子)

2014年12月21日(日)
西京極運動公園陸上競技場 5区間21.0975km

成績(本県分のみ)

第6位 豊川 1.08.56
(猿見田裕香・山田日菜野・田中美帆・榊原海紗・鷺見梓沙)
区間賞 5区(5km) 鷺見梓沙(豊川) 15.42

第65回全国高校駅伝(男子)

2014年12月21日(日)
西京極運動公園陸上競技場 7区間42.195km

成績(本県分のみ)

第8位 愛知 2.05.46

(山藤篤司・山下和希・青木祐人・三輪軌道・佐藤敏也・
多和田涼介・飯島康介)
第15位 豊川 2.06.47

第46回元旦競歩・長距離競技会

平成27年1月1日(木) 瑞穂公園陸上競技場・付設長距離競歩路

成績(太字は愛知登録)

男子一般大学 20km 競歩

1	遠山 拓馬 (小松短期大)	1.40.18
2	尾崎 雄大 (トヨタ自動車)	1.54.53
3	今川 智博 (愛教大ク名)	2.00.25

男子一般大学 10km 競歩

1	尾上 雄基 (静岡陸協)	48.52
2	大島 雅之 (東海学園大)	51.57
3	森川 直樹 (和泉市陸協)	1.03.18

男子高校 10km 競歩

1	榊原 旭良 (愛産大三河高)	48.20
2	紀藤 大樹 (西春高)	48.39
3	山田 華生 (一宮高)	49.42

女子一般 20km 競歩

1	占部 磨美 (三菱自動車岡崎)	1.41.32
2	五藤 怜奈 (中部学院大)	1.41.44
3	中原 舞 (中部学院大)	1.44.42

女子一般 10km 競歩

1	若松 美歩 (ヨシダ自動車)	52.17
2	加藤 典子 (三菱自動車岡崎)	53.46
3	村上 瑠菜 (至学館大)	54.45

女子高校 10km 競歩

1	中野 恵 (済美)	54.04
---	-----------	-------

女子高校 5km 競歩

1	川田 京香 (済美)	26.51
2	門脇 実里 (大府東)	27.16
3	水谷 玲那 (一宮)	27.38

男子一般大学 10000m

1	中村 賢治 (三菱重工)	33.30.12
2	島澤 誉寛 (愛知陸協)	33.59.92
3	寺田 彰吾 (愛知工業大)	34.02.92

男子高校 10000m

1	大川 隼平 (愛工大名電)	31.57.66
2	鬼頭 直己 (愛工大名電)	32.10.00
3	堤 完一 (愛工大名電)	32.57.83

男子中学 3000m

1	山盛 翔大 (名南)	9.39.08
2	岡田 慶輝 (AC一宮)	10.47.87

女子一般 10000m

1	中山あさひ (愛教大クラブ)	39.10.46
---	----------------	----------

2 中山 淳子 (愛教大クラブ) 41.25.14

女子高校 10000m

1	棚橋 愛以 (済美)	39.04.11
2	山根 優 (済美)	39.10.90
3	二村 美穂 (愛工大名電)	39.25.71

女子中学 3000m

1	河合 琴香 (逢妻)	12.39.23
2	武田あゆみ (逢妻)	13.41.73
3	鈴木 優美 (逢妻)	13.47.28

第59回全日本実業団駅伝

2015年1月1日(木) 群馬県庁発着 7区間 100.0km

成績(本県入賞分のみ)

第1位 トヨタ自動車 4.51.41

(藤本 拓・ジョセフ カマシ・宮脇千博・窪田 忍・大石港与・田中秀幸・早川 翼)

区間賞	5区 大石港与 (トヨタ自動車)	47.19
	6区 田中秀幸 (トヨタ自動車)	36.59
	7区 早川 翼 (トヨタ自動車)	47.41

他に愛三工業、愛知製鋼、トヨタ紡織、中央発條、トーエネックが出場。

第33回全国都道府県対抗女子駅伝競争大会

2015年1月11日(日) 京都西京極陸上競技場発着
9区間 42.195km

総合 愛知 4位(6年連続入賞) 2.17.29

区間(距離)	選手	所属	時間	区間成績	通過順位
第1区 6km	莊司 麻衣	中京大	19.31	7位	7位
第2区 4km	鷺見 梓沙	豊川高	12.13	1位	1位
第3区 3km	松井 優実	高豊中	9.45	10位	1位
第4区 4km	宮田佳菜代	ユタカ技研(F)	13.16	10位	3位
第5区 4.1075km	加治屋ななこ	小島プレス	13.21	10位	4位
第6区 4.0875km	猿見田裕香	豊川高	13.25	10位	6位
第7区 4km	川口 桃佳	岡崎学園高	12.53	6位	5位
第8区 3km	中野 紗希	山田中	10.40	25位	6位
第9区 10km	鈴木亜由子	日本郵政(F)	32.25	2位	4位

F:ふるさと選手

区間賞 2区 鷺見梓沙(豊川高) 12.13

第20回全国都道府県対抗男子駅伝競争大会

2015年1月18日(日) 広島市平和記念公園前発着
7区間 48.0km

総合 愛知 DQ(参考:15番目にフィニッシュ)

区間(距離)	選手	所属	時間	区間成績	通過順位
第1区 7km	山藤 篤司	愛知高校	×	×	
第2区 3km	蝦夷森章太	古知野中学	8.53		16位
第3区 8.5km	大石 港与	トヨタ自動車	24.29		9位

第4区 5km	小野田勇次	豊川高	14.40	22位	
第5区 8.5km	小島 宏友	豊川工高校	25.11	12位	
第6区 3km	伊藤 大雅	矢作中学	8.47	15位	
第7区 13km	神野 大地	青山学院大学(F)	37.36	3位	

F：ふるさと選手 ×：区間失格 DQ：失格

3	潮田 小波 (中京大中京高)	35.08
4	服部 千秋 (愛知教育大)	37.19
5	西川かりん (愛知教育大)	38.22
6	芹沢 舞 (小島プレス)	38.45

第36回読売犬山ハーフマラソン

2014年2月23日(日) 公認犬山ハーフマラソンコース

(写真提供：読売新聞社フォトサービス)



登録男子の部
優勝の安藤悠哉選手



犬山城をバックに1万人が快走

内田防災公園(旧名証グラウンド)発着で、登録の部ハーフ男女・10Km男女、一般の部ハーフ(豪傑・猛者・つわもの・初陣)男女と10Km男女を含めて1万人を超す参加者で行なわれました。登録ハーフ男子は地元愛知県出身の青山学院大の安藤選手が優勝、女子は愛知電機の高谷選手が連覇しました。

大会成績結果(太字は愛知登録)

登録ハーフ男子

1	安藤 悠哉 (青山学院大)	1.04.11
2	中田 剛司 (三重陸協)	1.04.38
3	桜井 亮太 (国士舘大)	1.05.04
4	小山 裕太 (駒沢大)	1.05.09
5	彦坂 要 (愛知製鋼)	1.05.11
6	大野 龍二 (愛知製鋼)	1.05.29

登録ハーフ女子

1	高谷 静香 (愛知電機)	1.15.04
2	藤原なつみ (愛知電機)	1.16.22
3	山崎 祐佳 (小嶋プレス)	1.16.36
4	河村奈津紀 (トヨタSC)	1.17.26
5	三浦 夏希 (愛知電機)	1.18.26
6	富田 光江 (あいち健康の森走遊会)	1.20.35

登録10km男子

1	下條 誠士 (トーエネック)	31.03
2	小原 祐生 (愛知製鋼)	31.15
3	西嶋 雄伸 (名経大高蔵高)	31.20
4	服部 潤哉 (中京大中京高)	31.24
5	福原 正治 (NTN)	31.38
6	桜井 亮也 (中京大中京高)	31.43

登録10km女子

1	榊原 美希 (スズキ浜松AC)	33.38
2	高木明日加 (小島プレス)	34.27

名古屋ウィメンズマラソン

平成27年3月8日(日) ナゴヤドーム発着

(写真提供：中日新聞社)



出発時のナゴヤドーム前にぎわい



久々の22分台で3位入賞の前田彩里選手(右端)

今年もギネス記録更新の1万7846人が出走した女子だけのマラソンが行なわれました。ホイールチェアマラソン(クォーター)、マラソンフェスティバルのハーフ、クォーターなども、とても充実した大会となりました。関係者のご協力に感謝いたします。

ウィメンズマラソン(エリート部)

1	ユニスジュベキルイ・キルワ (パーレーン)	2.22.08 GR
2	マリア・コノワロワ (ロシア)	2.22.27 GR
3	前田 彩里 (ダイハツ)	2.22.48 GR
4	伊藤 舞 (大塚製薬)	2.24.42
5	竹中 理沙 (資生堂)	2.28.09
6	野上 恵子 (十八銀行)	2.28.19
7	アンナ・インチェルティ (イタリア)	2.29.10
8	岩出 玲亜 (ノーリツ)	2.29.16

ホイールチェアマラソン(クォーター)

1	土田和歌子	24.36
2	中山 和美	28.02
3	安川祐里香	30.54

前田選手と伊藤選手は8月の北京世界選手権代表に選ばれました。

愛知選手権女子マラソン
平成27年3月8日(日) ナゴヤドーム発着

Table with 2 columns: Rank, Name (Club), Time. Includes 山崎 祐佳, 河村奈津紀, 兼松 藍子, 草薨あずさ, 長坂 恵子.

名古屋シティマラソン
平成27年3月8日(日) ナゴヤドーム発着

Table with 3 columns: Category, Rank, Name (Time). Includes Half Men, Quarter Men, Half Women, Quarter Women.

理事会等会議報告

○12月理事会 26年12月10日(水) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①全国都道府県対抗女子駅伝・男子駅伝の選手選考について
②各種栄章候補者について
③愛知県体育協会被表彰者について
④審判員昇格候補者について
⑤平成27年度競技会等の日程(案)について
⑥その他

2 報告事項

- ①各種大会結果報告
②陸連関係会議
・全国強化責任者会議(12/2~3)
・全国普及育成担当者会議(12/2)
・加盟団体連絡協議会(12/3)
③各専門委員会報告
④その他

○1月理事会 27年1月27日(火) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①平成27・28年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員について
②平成27年度競技会等の日程について
③その他

2 報告事項

- ①各専門委員会報告
②その他

○2月理事会 27年2月20日(金) 18:00 教育会館

1 協議事項

- ①平成27・28年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員について
②平成27年度競技会等の日程について
③その他

2 報告事項

- ①各専門委員会報告
②その他

○臨時評議員会 27年2月20日(金) 18:30 教育会館

1 協議事項

1号議案

平成27・28年度一般財団法人愛知陸上競技協会役員について
その他

2 報告事項

平成27年度競技会等の日程について
その他

(水野 隆夫)

栄章

おめでとうございます

平成26年度愛知県体育協会表彰

日時 平成27年3月19日(木) 午後3時30分
場所 ウィルあいち(愛知県女性総合センター)

・功劳賞

澤木三枝子 水野 久

・優秀選手賞

(国際競技会優秀成績)

市川華菜 高田由基 及川文隆 森 風紗

(国民体育大会優勝)

市川華菜 丹羽愛利彩 柴山沙也香 白田菜々美

(日本選手権大会等優勝)

室伏広治

(水野 隆夫)

お く や み

長年本県の陸上競技の発展のため、多大なるご尽力をいただきましてありがとうございました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。(敬称略)

逝去者氏名 逝去年月 支部名

太田 哲郎 26・12 西三河

編集後記

◇創立80周年が終わり、新しい10年が始まる。支えていただいた方々すべてに感謝して、さらに前進したい。◇2016年度の第100回日本選手権の開催はもちろんいろいろな場面で愛知の存在を示す要あり。◇寄稿に深謝。

編集委員

大西 敏功 小坂 拓 竹前 正直 茶谷 和彦
新見 精三 西垣 完彦 野口 一昭 山下ゆかり
横田小百合